

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、 国立国際医療研究センター国府台病院 糖尿病・内分泌代謝内科および総合内科では、本センターで保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究を実施します。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 高齢者における感染症の転帰に対する糖尿病の影響に関する後ろ向き観察研究

[研究対象者]

70歳以上の高齢者で、2015年1月1日～2023年8月31日の間に、国府台病院糖尿病・内分泌代謝内科および総合内科に感染症 (対象疾患は呼吸器感染症・尿路感染症・敗血症・足感染症・新型コロナウイルス感染症) で入院された方。

[利用する診療情報等の項目と取得方法]

診療情報等：診断名・年齢・性別。既往歴・併存疾患・糖尿病の有無・身体計測項目・血液検査・尿検査・画像検査・入院中の血糖コントロール・使用薬剤・入院中の血糖コントロール・入院後の経過に関する情報カルテから上記に該当する情報を収集し利用します。

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

70歳以上の高齢者の糖尿病患者さんでは、感染症は悪性腫瘍に次いで、死因の第2位を占めています。これまでの研究では、糖尿病患者さんでは呼吸器感染症・尿路感染症・足感染症・敗血症・術後感染症を発症するリスクが高いこと、さらに血糖コントロールが不良な場合は、肺炎による入院や死亡などのリスクが高いことが報告されています。

しかし、高齢者において、糖尿病や血糖コントロールが、感染症の重症度や死亡リスクとどの程度関わるか、という点について、これまで十分に研究されていないのが現状です。

この研究では、肺炎・尿路感染症・敗血症など、高齢者で頻度の高い感染症で入院した患者さんを対象に、糖尿病の有無・糖尿病の状態や治療が、感染症の重症度や死亡などのリスクとどう関わっているか、という点について解明することを目的としています。

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2028年3月31日までの間 (予定)

[この研究での診療情報等の取扱い]

本センター倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立国際医療研究センター 理事長 国土 典宏

研究責任者：国立国際医療研究センター国府台病院 糖尿病内分泌代謝内科 医長 勝山 修行

研究内容の問合せ担当者：国立国際医療研究センター国府台病院 糖尿病内分泌代謝内科 勝山 修行

電話：047-372-3501 (代表) (応対可能時間：平日9時～17時)